



六郷 ろくごう

六郷小学校

H29. 10. 27

No. 22

みさとキッズわくわく交流会

10月19日(木)に今年から新しく始まった「みさとキッズわくわく交流会」が行われました。昨年までは、美郷町内の3校で「陸上交流会」を行っていたのですが、今年から大幅に内容を変更して新しい取り組みとなりました。

美郷中学校の1年生に、「入学して一番不安だったことは何か」を聞いてみたところ、「友だちができるかどうか」だったそうです。美郷中学校は郡内で2番目の規模の中学校です。その人数の中で友だち関係に不安を感じていたことがはっきりしました。現に、入学後もなかなか友だちができない生徒もいるようです。他の地区であれば、小学校の規模が小さいので、簡単に小学校間の交流ができます。地区によっては、修学旅行を一緒に行く小学校もあります。しかしながら美郷町は、3校とも人数が多く、簡単に交流活動ができないのです。

そこで、美郷町教育委員会と校長会で話し合い、これまでの陸上交流会から「ゲームなどを通して友だちを作る交流会」に変えたのです。



上の写真は5年生の交流会の様子です。「ビンゴ」を完成させるために、他校のいろいろな人に声をかけている様子です。今回も、4年生の宿泊活動で指導してくれた、花まる学習会の荒井先生に来てもらいました。ビンゴは、お題に合う人を探してサインをもらってビンゴを完成させるゲームです。「妹や弟がいる人」という簡単なお題から、「外国の行ったことがある人」といった難関なお題まであり、子ども達は苦戦していました。

このビンゴのおもしろさはそれだけではありません。お題に合う人が見つかったら、右の写真にあるように「二人で並んで寝そべる」とか「二人で50mを全力で走る」「グラウンドの真ん中で大声を出す」といった指示が入っているのです。これが子ども達の間を関係をぐっと近づけるのだなあと感じていました。こういうところが、花まる学習会の素晴らしいところです。



笑顔いっぱいの握手

「ヤッター」できたぞ!

「ライガー、完成!」

上の写真は、6年生の交流会の様子です。ビンゴゲームの中で、握手の指示がありますが、子ども達は実にさわやかな笑顔で握手を交わしていました。このゲームのよさは、こういった触れ合いにあります。

二つ目のゲームが「言葉作りゲーム」です。その様子が、上の右側2枚の写真です。グラウンドに「ひらがな一文字」が書かれたカードが裏の状態ではらまかれています。グループで作る言葉を決め、その文字を協力して集めて言葉を完成させるゲームです。ひらがなは、4枚ずつ準備されています。「」 「一」も別に探す必要があります。



条件としては、このグラウンドにあるもの・見えるものでした。最初は「き」や「くさ」で満足していたグループも、次第に長い言葉に挑戦し、「みさとちゅうがっこう」や「こうちょうせんせい」といった長い言葉を完成させることができました。3校の子ども達が本当に協力し合ってこそ完成できるゲームで、子ども達の距離もぐっと縮まったような感じを受けました。

(6年生の子ども達の日記から)

今日は、みさとキッズわくわく交流会がありました。私は、自分でも言えるくらい人見知りなので、きんちょうしてしまっただけで、さんとさんがサポートしてくれたのでうれしかったし、おかげで班のみんなと、気安く話せてよかったです。このことから、私はサポートしてくれてうれしかったし、中学でもっと仲を深めたいです。



今日は、みさとキッズわくわく交流会が行われました。私は中学校に早く行きたいと思っていたけれど、やっぱり六郷小のみんなのままではないので、中学校に上がるのが少し不安だったので、このような交流会を開いてくれて、すごく安心しました。千畑小、仙南小のみんなはすぐ話しかけてくれたし、ゲームの時「いっしょにさがさない？」と気安く話しかけてくれたので、すごくうれしかったです。これで中学校に行く時も不安にならないと思いました。

「祖父母参観」 & 「地域への学校公開」

10月18日(水)、祖父母参観に合わせて、初めての取り組みである「地域への学校公開」を行いました。保護者の皆様には、案内の配布等でご難儀をおかけしました。おかげさまで、地域の皆様が25名も来校くださいました。これを機会に、多くの地域の方々が学校に気軽にお越しいただければと思います。



祖父母参観もたくさんの方が来てくださり、校内のあちこちではほほえましい光景を目にしました。PTA参観日とはまた違った、穏やかで柔らかな空気が流れているような感じを受けました。子ども達の表情もすばらしく、上の写真のように、二人でじっくりと作業に向かっている姿が本当にすてきでした。

今回の目玉は、何と言っても本校初の「全校合唱」でした。ステージが狭いこともあって、これまで学習発表会では全校合唱を行ってきませんでした。今年度も学習発表会という気持ちもありましたが、夏休み明けの短い期間での練習のため、断念しました。しかし、職員から「全校合唱をやりたい」という声上がり、今回の実現となりました。披露した歌は、「校歌」「町民歌」、そして「この地球のどこかで」です。各学級で毎朝練習を積んでくれて、全校での練習はたった1時間でした。それでも、学級での指導がしっかりしていたので、子ども達は1時間の練習でしっかりと歌うことができたのです。そして、本番は練習以上に集中して、さらに素晴らしい歌声となりました。「本番に強い六郷小学校」になってきています。

